

プレスリリース

このリリースに関する連絡先:

三島 祐子
マーケティング&コミュニケーションズ
広報担当アシスタントマネージャー
03 6271 9408
yuko.mishima@bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー、宮城県石巻市における 大規模太陽光発電事業においてトリナ・ソーラーに法的アドバイスを を提供

【東京発 2016 年 5 月 19 日】

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：ジェレミー・ピッツ）は、宮城県石巻市で中国の太陽光パネルメーカーであるトリナ・ソーラーが進めるメガソーラープロジェクト（大規模太陽光発電事業）において法的アドバイスを提供します。本プロジェクトでは、太陽光発電モジュールの製造・販売、太陽光発電所の開発・建設、および関連サービスにおいて世界有数の企業であるトリナ・ソーラーが、GE エナジー・ファイナンシャル・サービスとパートナーシップを結び、宮城県石巻市における大規模太陽光発電所（発電容量 14 メガワット）を建設します。

同発電所は、2016 年 6 月末日に着工、2017 年 6 月の発電開始を予定しています。本プロジェクトで発電されるクリーン電力は、発電開始後 20 年間にわたり、東北電力株式会社へ 36 円/kWh の固定価格で売却されます。稼働後は、日本の一般家庭 4,400 世帯以上の年間消費電力を賄うのに十分な量を見込んでいます。

ベーカー&マッケンジーでは、東京事務所の銀行・金融プラクティス・グループの代表である江口直明をリード・パートナーとし、パートナーの鷹取康久、アソシエイトのピエール・シアソン、川合千秋が本件に携わりました。

本案件について江口直明弁護士は、「太陽光は、近年、再生可能エネルギーとして大変注目を集めています。意義のある大規模太陽光発電事業に関わり、お客様へ法的な面からの支援をすることができ大変嬉しく思います。ベーカー&マッケンジーは、今後も多くの企業の参入が見込まれる再生可能エネルギー事業分野において、お客様に価値ある法的アドバイスをご提供できるよう、全力で取り組んで参ります。」と述べています。

■本件における責任者



江口 直明
銀行・金融グループ代表パートナー
03 6271 9441 naoaki.eguchi@bakermckenzie.com

東京事務所の銀行・金融プラクティス・グループのリーダーであり、ベーカー&マッケンジー・アジア地域の銀行・金融プラクティス・グループの運営委員会のメンバー。東京事務所の銀行・金融グループは、2016年の *Chambers Asia-Pacific* と *The Legal 500 Asia Pacific* において、*Banking & Finance: International* の分野で Band 1 にランクされた。

■ベーカー&マッケンジーについて

ベーカー&マッケンジーは、47 か国 77 の事務所に 12,000 名以上を擁する国際法律事務所です。1949 年の設立以来、各国の言語およびビジネス環境に対する深い理解に基づく高品質のサービスを提供する法律事務所として知られています。2015 年 6 月 30 日決算期における収入は、24 億 3,000 万米ドルとなりました。ファームのエグゼクティブ・コミッティのチェアマンは、エデュアルド・レイテイが務めています。
www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカー&マッケンジーの東京事務所として 1972 年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカー&マッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。
www.bakermckenzie.co.jp



ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、各国に所在するオフィスをメンバーファームとするスイス法上の組織体であるベーカー&マッケンジー インターナショナルのメンバーファームです。専門的知識に基づくサービスを提供する組織体において共通して使用されている用語例に従い、「パートナー」とは、法律事務所におけるパートナーである者またはこれと同等の者を指します。同じく、「オフィス」とは、かかるいずれかの法律事務所のオフィスを指します。